

需要前年比横ばいの1,373千トン
輸入は116万トンの高水準
～12月LPガス需給実績（5日集計）～

日本LPガス協会がこのほどとりまとめた「LPガス需給統計」（5日集計）によると、12月のLPガス需要（元売出荷ベース）は前年同月比0.1%増の1,373千トンとなった。微増ながら4カ月連続の前年比プラス。ただしプロパン需要は1.8%減と再び落ち込んだ。ブタンは9月、10月、11月の前年同月比二桁増には至らなかったが8.4%増と引き続き大幅増となった。これに対して供給は、輸入が前年同月比10.7%増の1,162千トン。12月としては2012年度の1,156千トンを上回る高水準となった。国内生産は低調で石油精製分、石油化学分合計160千トンだった。この結果、供給計は1,322千トンとなった。輸入増が供給を引き上げた。このため、12月末の一次基地在庫は月間51千トン減の1,561千トンとなった。前年同月末比では99.8%と前年並みとなった。うちランニング在庫は449千トンで同102.7%。

1. <生産> 12月の国内LPガス生産量は、石油精製分が前月比14千トン減、前年同月比29.0%減の125千トン、石油化学分が前月比1千トン減、前年同月比10.3%減の35千トンとなった。

12月の原油処理量（精製業者分）は前月比8.3%増、前年同月比1.7%減の15,596千バレルだった。季節柄前月比では大幅に増加したが、前年同月比では需要低迷を反映して減少が続いた。燃料油計の需要は前年同月比2.6%減。プラスとなったのはジェット燃料油と軽油にとどまった。原油処理量の減少により製油所のLPガス生産量は1.3%減。そのうち自家消費を除き市場出荷されたのが上記生産として計上される125千トン。

12月の石油化学のエチレン生産は564千トン、前月比2.3%増、前年同月比0.3%増となった。12月のエチレンプラントの定修はゼロ。11月、昨年12月とも定修はゼロ。プラント稼働率は95.4%となった。このため併産LPガスはほぼ横ばいだったが、国際ナフサ市場の高騰から石化工場内自家消費プロパン・ブタンが増加、市場出荷量は35千トンにとどまった。

2. <輸入> 12月の輸入は1,162千トンで前月比404千トン増、前年同月比10.7%の増加の高水準となった。前記2012年12月の1,156千トンを上回った。11月の需要が伸びて在庫が減少したことから輸入手当てが増加したもの。需要ピーク期を前に米国からの極東入着カーゴも潤沢だった。パナマ運河での船の輻輳もやメキシコ湾の濃霧もあったが、数日で収束したことも輸入増につながった。

12月の国別輸入状況は、米国865千トン、カナダ65千トン、アブダビ62千トン、オーストラリア100千トン、サウジアラビア59千トン、バーレーン10千トン。クウェートとカタールからの輸入はなかった。北米からの輸入比率は80.0%（米国75.0%）と今や北米がかつての中東にとって代わった。なおプロパンに限ると950千トン輸入のうち米国が767千トンで80.7%となっている。ターム契約による中東からの輸入＝船積みはもっと多いが、今や米国のプロパン輸出は年間3,400万トン超ペースとなっており、アジア・極東地域には米国カーゴがどんどん流入、勢いトレーディングによる米国産の輸入も高比率となる。中東産カーゴは中国やインド、インドネシアなどに向かった。

3. <総需要と一般用需要> 12月のLPガストータル需要は、プロパンが前年同月比1.8%減の1,102千ト、ブタンが同8.4%増の271千ト、合計で同0.1%増の1,373千トとなった。プロパンは2カ月ぶりの前年比マイナス。ブタンは4カ月連続のプラスだ。大幅増需が続く。一般用需要に限ると、プロパンが1.8%減の1,102千ト、ブタンが6.2%増の241千ト、合計で0.4%減の1,343千ト。

12月の気温は、北日本が平年比0.4℃高、東日本は同1.5℃高、西日本が同1.3℃高。これが主として家庭用実需の低迷につながった。

1月も引き続き暖冬。北日本が平年比1.7℃高、東日本同2.7℃高、西日本2.8℃高となっており、プロパン需要は依然低迷して大幅いる。

原油が急落し、3月CIPもP350ドルまで激落するのでは、とみられている。2月は逆仮需の発生と元売の高値在庫整理が重なり、国内市場大荒れの予感！

4. <輸入船直納需要> 鉄鋼用と電力用の受入れは引き続きゼロだったが、化学原料用はブタン受入れが続き30千ト（昨年12月はブタン23千ト）。輸入CIF価格はLNGに比べてLPGが安値となっているものの、LNGの供給が旺盛でスポット価格も下落していることから、電力用のLPガス需要は期待薄が続く。

5. <在庫> 以上のような需給の結果、12月末の一次基地在庫は11月末比51千ト減の1,561千トとなった。昨年12月末比99.8%と前年比横ばいとなった。うちランニング在庫は449千トで11月末比32千ト減、前年同月末比102.7%。12月末法定備蓄量は1,112千ト。2月から民間備蓄日数が50日分から40日分に軽減されている。

12月のLPガス需給実績は次のとおり（単位・千ト、カッコ内は前年比%）。

	プロパン	ブタン	合計
月初在庫	1,076	536	1,612
	(94.5)	(100.8)	(96.5)
ランニング分	297	184	481
	(75.6)	(90.6)	(80.7)
法定備蓄	779	352	1,131
<供給>			
石油精製分生産	93	32	125
	(71.5)	(69.6)	(71.0)
石油化学分生産	20	15	35
	(90.9)	(88.2)	(89.7)
輸入	950	212	1,162
	(107.1)	(130.1)	(110.7)
供給計	1,063	259	1,322
	(102.3)	(114.6)	(104.5)
<出荷>			
一般用	1,102	241	1,343
	(98.2)	(106.2)	(99.6)
鉄鋼用	0	0	0
	(--)	(--)	(--)
化学原料用	0	30	30
	(--)	(130.4)	(130.4)
電力用	0	0	0
	(--)	(--)	(--)
輸入船直納計	0	30	30
	(--)	(130.4)	(130.4)
出荷計	1,102	271	1,373
	(98.2)	(108.4)	(100.1)
<在庫>			
月末在庫	1,037	524	1,561
	(98.2)	(103.1)	(99.8)
ランニング分	279	170	449
	(99.6)	(108.3)	(102.7)
法定備蓄	758	354	1,112

（注）在庫は一次基地在庫